

いま天皇問題を考える!

最近の異常ともいえる天皇の病気報道、行事自粛は何を意味するのか。今こそ、私たち主権者の眼でもう一度天皇問題をみつめなおしてみよう!

最近、天皇の病気報道が、特にマスコミによって過重にとりあげられ、華やいだ催しは自粛せざるを得ないような世論づくりもなされています。記帳といういわば踏み絵のようなものまで全国各地で実施されており、今日の状況は、ふたたび天皇を「神聖にして侵すべからざる」の域に押しあげようとする危険さえ感じられます。

しかし、過去の戦争において天皇が果たした役割を我々は忘れ去ってしまうわけにはいきません。

この度、昭和史の専門家である鹿児島大学の切刀先生をお招きし、この問題を昭和史的な見地からわかりやすく話ししていただけることになりました。天皇に関する戦前の体験発表等もまじえて、会場の皆さまからも発言をいただきこの機会に共に主権者として天皇問題を考えてみたいと思います。



(閱兵中の大元帥天皇)

講演

切刀俊洋先生

(鹿児島大学助教授)

●とき 11月4日(金)

午後6時～9時

●ところ 中央公民館大研修室(宮崎女子高校北側)

●参加費 二二〇〇円

主催
宮崎民主法律家協会・日本科学者会議宮崎支部

共著「天皇の昭和史」(新日本新書)等
昭和史の専門家

いま天皇問題を考える!

講師

功刀俊洋先生

講演

「天皇と平和
太平洋戦争の開戦過程」



(閱兵中の大元帥天皇)

〈資料項目〉

- ① レジメ 天皇と平和—太平洋戦争開戦過程
- ② 講師資料：聖断による開戦(1)、(2)
- ③ 資料 天皇問題と世界のジャーナリズム
- ④ 世界の目(新聞報道より)
[英]、[米]、[日]、[独]
- ⑤ 日本での天皇批判(ながり)(新聞報道より)
- ⑥ X day 討論
- ⑦ 青年、高校生の声(新聞報道より)
- ⑧ 記憶所設置に関する抗議及び質問と要請文

1988年11月4日
午後6時～午後9時
中央公民館大研修室

主催

宮崎民主法律家協会・日本科学者会議宮崎支部

天皇と平和－太平洋戦争の開戦過程

はじめに

- つくられた常識－A) 立憲君主で平和主義者
 B) 日本の伝統文化の中心、日本のままとりの中心
 ○天皇は戦争に反対だった ○立憲君主の慣例に従い、政府や軍部の決定にさからえなかった ○戦争を早く終わらせ国民を救った

素直で自然な疑問

- 終戦の「聖断」ができるのに、なぜ開戦中止の「聖断」ができないの
 ○東条英機を首相にし(1941年10月)、退陣(1944年7月)をきめたのは天皇ではないか
 ○終戦の「聖断」は、なぜ日本の敗北が明白となり(1944年7月、サイパン島玉砕)国民に大きな犠牲(1944年10月那覇空襲～本土空襲、沖縄戦、広島、長崎)が生じたのに遅れたのか

常識づくりの出発点

1945年 敗戦直後の連合国の戦争責任追及に対する宮中の「頬被り」と政府の常識づくり ←戦争責任認識の欠落=やむをえない自衛戦争の主張

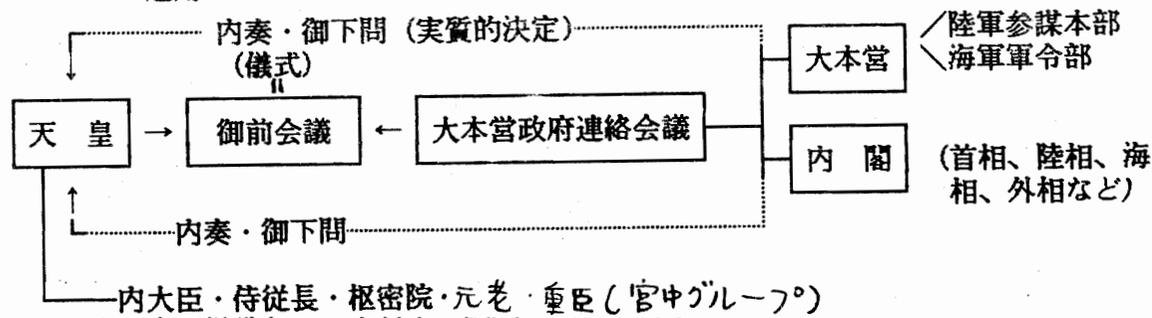
外国の常識

天皇に戦争責任あり、人間宣言と国民主権・象徴への移行は免責の代償だった

1. 帝国憲法下の戦争政策決定のしくみ

<制度>

- ①天皇大権制－天皇は最高の政治権力者・軍事指揮者(天皇主権と専制君主制を憲法で規定)
 1・4条 元首、統治権 3条 神聖不可侵 5条 立法権
 11条 統帥権(軍隊の指揮権・作戦指導) 12条 軍隊編制権
 13条 宣戦講和・条約締結権
 ②国家機構(天皇の補佐機関)の分立割拠制－政府と軍部、陸軍と海軍は独立対等で相互に関与できない 特に戦争指導については国民や議会はもちろん内閣も権限がない(天皇の軍隊親率、統帥権の独立)
 ③戦争のように政府と軍部が意見を統一しなければならない場合、政府と軍部陸軍と海軍の間の調整と最終決定をする機関・人は天皇しかいない
 <運用>



2. 太平洋戦争＝日米対立の原因と天皇の対応

日本の中国侵略、日独伊三国反米軍事同盟、日本の東南アジア武力征服
 天皇は1931-40年にこれらを支持し、政府と軍部に推進させながら、41年7月まで日米交渉・戦争回避をのぞんでいた

しかし

この回避は戦争せずにアメリカを屈服させ、大東亜共栄圏を完成させようとするもので、平和を望んだものではなかった(相撲の不戦勝)
 武力占領と軍事同盟によってアジアを手にいれようということを平和といいくるめるもの
 当然
 アメリカは屈服しなかったので、この回避は深刻な矛盾におちいり、天皇はその解決を対米戦やむなし求めたに

3. 「聖断」による開戦

- 1) 「聖断」しかありえなかった
 ①帝国憲法の制度と運用に沿った ②「大日本帝国」の命運をかけた重大決定 ③和戦をめぐる1939年以来、軍部と政府、外務・海軍と陸軍、のあいだに深刻な対立が存在した－資源確保の成否、対米妥協か強硬か、ナチスへの過信と不信、北進と南進
 2) 「木戸幸一日記」(内大臣)、「杉山元メモ」(参謀総長)にみる天皇の大元帥ぶり
 ○1941年 9月5日 対米戦準備を承認
 9月6日 第6回御前会議(10月上旬まで交渉をつづけるが、妥結困難の場合10月下旬を目途に戦争準備を完成し開戦を決意する)
 ○ 9月9～10日 軍に動員を命令
 10月16日 第三次近衛内閣総辞職
 10月18日 東条内閣成立
 ○ 11月1日 東条と杉山の会話
 ○ 11月2日 戦争の大義名分と戦勝のための作戦を質問
 ○ 11月3日 陸軍のマレー上陸作戦計画を承認
 11月5日 第7回御前会議(対米戦決意、武力発動を12月初頭とさだめ陸海軍の作戦準備を完成)
 ○ 11月26日 重臣会議での挙国一致を提案
 ○ 11月30日 海軍の意思を確認し東条首相に開戦を命令
 12月1日 第8回御前会議(開戦決定)
 3) 戦果にはしゃぐ天皇
 ○1942年 2月16日 シンガポール陥落
 ○ 3月9日 ジャワ、ビルマ占領

まとめ

天皇は侵略戦争の最大の責任者で、国際的には戦争犯罪者である
 戦後の人間宣言＝神格否定と憲法改正＝国民主権・象徴天皇は戦争犯罪免責の代償だった
 したがって、天皇の元首化と権威化は侵略戦争の肯定を意味し、諸外国との友好と戦争犠牲者をふみにじるものだ

5 聖断による開戦(1)

杉山メモ上

昭和十六年九月五日
御下問奉答

「帝國国策遂行要領」ニ関スル御前会議開催ノ前日タル

九月五日夕突然陸海統帥部長ヲ召サレ近衛總理立会ノ下ニ御下問アリ

御下問奉答ノ一部左ノ如シ
御上 成ルヘク平和的ニ外交テヤレ

外交ト戦争準備ハ平行セシメスニ外交ヲ先行セシメヨ

右ニ対シ種々奉答ス
御上 南方作戦ハ予定通り出来ルト思フカ

参謀総長右ニ対シ馬米比島等ノ予定作戦ヲ詳細奉答ス
御上 予定通り進マヌ事カアルタラウ

五ヶ月ト云フカソウハイカヌコトモアルタラウ
総長 従来陸海軍ヲ数回研究シテ居リマスノテ大体予定ノ通り行クト思ヒマス

御上 上陸作戦ハソナニ案々出来ルト思フカ
総長 案トハ思ヒマセカ陸海軍共常時訓練ンテ居リマスノテ先ツ出来ルト思ヒマス

御上 九州ノ上陸演習ニハ船カ非常ニ沈ンタカアナーナレバドウカ
総長 アレハ敵ノ飛行機力撃滅セラレル前ニ船団ノ航行ヲ始メタカラテアツテ、アーハナラヌト思ヒマス

御上 天候ノ障碍ハドウスルカ
総長 障碍ヲ排除シテヤラネハナリマセヌ

御上 予定通り出来ルト思フカ
オ前ノ大臣ノ時ニ蔣介石ハ直ク参ルト云フタカ未ダヤレヌテハナイカ

参謀総長更メテ此ノ機会ニ私ノ考ヘテ居リマスコトヲ申上ゲマスト前提シ日本ノ国力ノ漸減スルコトヲ述ヘ弾撥力ノアルウチニ国運ヲ興隆セシムル必要ノアルコト又困難ヲ排除シツツ国運ヲ打開スル必要ノアルコトヲ奏上ス

御上 絶対ニ勝テルカ(大声ニテ)
総長 絶対トハ申シ兼ネマス 而シ勝テル算ノアルコト

御上 絶対トハ申シ兼ネマス 而シ勝テル算ノアルコト

御上 絶対トハ申シ兼ネマス 而シ勝テル算ノアルコト

御上 絶対トハ申シ兼ネマス 而シ勝テル算ノアルコト

御上 絶対トハ申シ兼ネマス 而シ勝テル算ノアルコト

承認構想作戦

トダケハ申シ上ケラレマス必ス勝ツトハ申上ケ兼
ナマス
尚日本トシテハ半年ヤ一年ノ平和ヲ得テモ統イテ
困難カ来ルノテハイケナイノテアリマス 二十年
五十年ノ平和ヲ求ムヘキテアルト考ヘマス
御上 ア、分ツタ(大声ニテ)
総長 決シテ私共ハ好シテ戦争ヲスル氣テハアリマセ
ン 平和的ニ力ヲ尽シ愈ミノ時ハ戦争ヲヤル考テ
アリマス

九月九日
南方作戦構想ニ就キ上奏ノ際御下問
御上 作戦構想ニ就テハヨク分ツタ
南方ヲヤツテ居ル時北方カラ重圧カアツタラドウ
スルカ

総長 南方ヲ始メタ以上ハ之ヲ達成スル迄右顧左眄ス
ルモノニアラスシテ邁進スル必要カアリマス 又
ソウ御願ヒ致シマス 但シ北方ニ事カ起レハ支那
ヨリ兵力ヲ転用スルコトナトモ致シマシテ中途テ
南ヲヤメル様ナコトハイケマセン
御上 ソレテ安心シタ
支那カラ兵力ヲ抽出スルコトハ大ナル困難ヲ伴フ
ニアラスヤ

総長 之ハ支那方面テ力カ薄クナリマスカラ戦面ノ縮
少其他ノコトモヤラナケレハナラヌト思ヒマス
此ノ事ハ年度作戦計画テモ考ヘテ居リマス ソレ
テモ支那ニハ心配ハ入りマセン

九月十日
對南方動員ニ関スル上奏ノ際御下問
御上 動員ヲヤツテ宜シ
而シ近衛、「ルーズベルト」ノ話カマトマレハ止
メルダラウ
総長 仰セノ通りテス

御上 又聞クノテアルカ南ヲヤツテ居ル時北ハ出て来ル
コトカナイカ
総長 絶対トハ申上ケラレマセンカ季節ノ關係上大キ
ナモノト出テ来ルトハ考ヘラレマセン

御上 又聞クノテアルカ南ヲヤツテ居ル時北ハ出て来ル
コトカナイカ
総長 絶対トハ申上ケラレマセンカ季節ノ關係上大キ
ナモノト出テ来ルトハ考ヘラレマセン

戦争決意は天皇の納得じだい

十一月一日(土)午前七時半ヨリ約一時間
東条陸相ト杉山総長トノ会谈要旨

東条
一 本日ハ結論トシテ

第一案 戦争セス、臥薪嘗胆ス

第二案 直ニ開戦ヲ決意シテ作戦準備ヲダグン進
メ、外交ヲ従トスルモノ

第三案 戦争決意ノ下ニ作戦準備ヲススルカ外交交
渉ハアノ最小限度ニテ之ヲ進メル

ノ三案ニ就テ研究スルカ總理トシテハ第三案ヲ採リ度
イト思フ

各大臣ノ案ニ対スル意見左ノ如シ
海軍、大蔵、企総、トモニ第三案、外務ハ判
然セス オ上ノ御心ヲ考ヘハナラヌ日露戦
争ヨリモ遙カニ大ナル戦争ナルカ故ニ御軫念
ノコトハ十分ニ拝察出来ル

又 オ上ハ正々堂々ナルコトヲオ好ミニナル
コトモ考ヘルト、今開戦ヲ決意シ其後偽騙外
交ヲヤルコトハ、御聞キ届ケニナラヌト思フ
然シ此案ヲ統帥部トシテ成功セシメル自信ア
ルナラヤラレテモヨロシイ

杉山 若シ外交ウマクニケハ準備シタ兵ヲ下ケル
トトナルカ之ハ困ル、内地カラ二〇万支那カ
ラモヤルヘキ作戦ヲヤメテ兵ヲ送ツテオ、
兵ヲ南洋迄出シテ戦争シナイテ退ケタラ士氣
ニ関ス、統帥部トシテハ、(イ)国交調整ハ断念
スル(ロ)戦争決意ヲスル、(ハ)戦争発起ハ十二月
初旬トス(ニ)作戦準備ヲスル(ハ)外交ハ戦争有利
ニナル様ニ行フヲ主張シ度イト思フ

東条 統帥部ノ主張ハ止メハシナイカ、オ上ニ御納
得シテイタタクノニハ容易テナイト思フ、
杉山 オ上ニ御納得ヲ願フコトノ困難ハ知ツテ居ル
第三案ハ万巴ムナイ時ニヤルモノト考ヘル
東条 オ上ハオキキニナラヌト思フ

杉山 對米交渉ノ時ノ最後要求ハ之以上低下スル
トハナイカ
東条 之ハ低下スルコトハナイ軍及国民ハ承知シ
ナ
尚本日ハ大義名分ニ就テモ研究シタイ思フ
居ル

11月5日の御前会議の原案を裁可

十一月二日国策再検討終了後東条総理 陸海両総長列立上奏ノ際ノ御下問奉答 総理ヨリ十一月一日ノ再検討最終連絡会議ノ細部ニ亘リ 詳細ニ奏上シ且御前會議軍事参議官會議開催ヲ御願ヒス

作戦計画を承認

十一月三日作戦計画を承認ノ節ノ御下問奉答 永野軍令部総長ト列立、先ツ永野奏上シ杉山総長ハ之ニ 次ク 杉山 租界ハ「マレー」作戦ヲ確認シテカラヤルコトハ解ツタ支那ノ租界ヲドウスルカ 杉山 租界接収及交戦権ノ発動ハ目下研究シテ居リマス 杉山 租界ハ香港ノ後デヤルダラウナ 杉山 サウデ御座イマス、他ノ方面デヤルト「マレー」ノ奇襲ハ駄目ニナリマス 杉山 租界ハ何時頃ヤルカ 杉山 外交トモ関係アリ何レ改メテ申上ケマス、然シ先キニヤルコトハナイ様十分注意致シマス

重臣會議を提案

十一月二十六日(水)晴 十一月二十五日より同四十五分迄、拝謁す。 日米會議につき御話あり。見透としては遺憾ながら最悪なる場面に達するに及ばずと恐れらるゝところ、愈々最後の決意をなすに就ては尚一度廣く重臣を會して意見を徴しては如何かと思ふ、就ては右の氣持を東條に話して見たいと思ふが、どうであらうかと御下問あり。依つて大要左の如く奉答す。 今度御決意被遊は真に後へは引かれぬ最後の御決定でありますので、御不審の点其の他どうもして見よう、あゝもして見よう云ふ様な御氣持がある様であれば、御遠慮なく仰せ載せ、御上としても後に省りて悔のない丈の御処置が願はしいと存じます。其の意味で御遠慮なく首相に御申付相成りまして宜しいと存じます。 二時半、東條首相拝謁後、重臣會議につき御下問ありたる趣を以て相談ありし故、曩に奉答の趣旨を伝へ、御上の御氣持の達せらるゝ様希望す。

海軍の腹を確認

十一月三十日(日)晴 午後一時半、高松宮邸伺候、三笠宮も御同席にて殿下に拝謁、対米施策を中心最近の状況を言上す。 二時半出仕。 三時半、御召により拝謁す。 今日午前、高松宮殿下御上りになりたるが、其時の話に、どうも海軍は手一杯で、出来るなれば日米の戦争は避けたい様な氣持だが、一体どうなのだらうかね、との御尋ねあり。 依つて、今度の御決意は一度聖断被遊るれば後は引けぬ重大なるものであります故、少しも御不安があれば充分念には念を入れて御納得の行く様に被遊ねばいけません、就ては直に海軍大臣、軍令部総長を御召になり、海軍の腹の御たしかめ相成度、此の事は首相にも隔意なく御話置き願ひ度いと存じますと奉答す。 三時半、東條首相参内、拝謁す。其後、海軍大臣、軍令部総長を御召あり、御下問ありたり。 四時、武官長、六時、侍從長と面談す。 六時三十分、御召により拝謁、海軍大臣、総長に先程の件を尋ねたるに、何れも相当の確信を以て奉答せる故、予定の通り進む様首相に伝へよとの御下命あり。 直に右の趣を首相に電話を以て伝達す。

聖断下る

十一月三十日(日)晴 午後一時半、高松宮邸伺候、三笠宮も御同席にて殿下に拝謁、対米施策を中心最近の状況を言上す。 二時半出仕。 三時半、御召により拝謁す。 今日午前、高松宮殿下御上りになりたるが、其時の話に、どうも海軍は手一杯で、出来るなれば日米の戦争は避けたい様な氣持だが、一体どうなのだらうかね、との御尋ねあり。 依つて、今度の御決意は一度聖断被遊るれば後は引けぬ重大なるものであります故、少しも御不安があれば充分念には念を入れて御納得の行く様に被遊ねばいけません、就ては直に海軍大臣、軍令部総長を御召になり、海軍の腹の御たしかめ相成度、此の事は首相にも隔意なく御話置き願ひ度いと存じますと奉答す。 三時半、東條首相参内、拝謁す。其後、海軍大臣、軍令部総長を御召あり、御下問ありたり。 四時、武官長、六時、侍從長と面談す。 六時三十分、御召により拝謁、海軍大臣、総長に先程の件を尋ねたるに、何れも相当の確信を以て奉答せる故、予定の通り進む様首相に伝へよとの御下命あり。 直に右の趣を首相に電話を以て伝達す。

開戦決定

十二月一日 第八回 御前會議 本日ノ會議ニ於テ、オ上ハ説明ニ對シ一々頷カレ 何等御不安ノ御様子ヲ拜セズ、御氣色麗シキヤニ 拝シ恐懼感激ノ至リナリ

天皇はしゃくはく

十二月十六日(月)晴 午前十時五十分より十一時迄、拝謁、一昨日、首相へ御尋ねのローマ法皇庁へ使節派遣につきて資格と宗教の關係について、及び衣料切符と官吏の服装について首相の依頼により奉答す。 シンガポールの陥落につき祝辭を言上す。 陛下にはシンガポールの陥落を聴し召され天機殊の外麗しく、次々に赫々たる戦果の挙がるについても、木戸には度々云ふ様だけれど、全く最初に慎重に充分研究したからだと思ふとの仰せり。真に感泣す。 三月九日(月)晴 午前九時、安藤京都府知事来訪、面談。 午前十時四十分より同十一時四十分迄、拝謁す。 御召により御前に伺候したるに、竜頭殊の外麗しくこゝろと遊され「余り戦果が早く挙り過ぎるよ」との仰せあり。七日ジャバ方面にてはバンドンの敵軍は降服を申出で、目下軍は蘭印の全面降服に導かんとしつつあり、スラバヤの敵軍も降服し、又ビルマ方面にてはラングーンも陥落せりと御話あり。真に御満悦の御様子を拝し、感激の余り頼には慶祝の言葉も出ざりき。 十一月四十分、武官長米室、バンドン、スラバヤ、ラングーン方面の戦況を聴く。

天皇問題と世界のジャーナリズム

下司 上

日本外務省は天皇の戦争責任を追及した英国の二つの新聞に抗議し、あつた。天皇の戦争責任を追及した。英大衆紙デーリー・スター（発行部数約百万）も同日、「ヒロヒトは血の帝国を支配した」との見出しの記事をのせ、「ヒロヒトは、多くの人からヒトラーより悪い人殺しと思われていたが、懲罰は免れた」と天皇の戦争犯罪を告発。同時に「悪の天皇が死んでも、第二次世界大戦のニコヒトの恐ろしい死の収容所から生き残った英兵士は涙を流さない」という戦争捕虜の談話を紹介しました。

これにたいし外務省は二十二日、英国のホワイトヘッド駐日大使を呼んで、英二紙の天皇報道は「日本の元首にたいする侮辱であり、日本政府の遺憾の念を申し入れる」と抗議。また、千葉駐英大使は両紙にたいし抗議をおこないました。千葉大使の抗議文は「日本国の元首である天皇陛下を誹謗する社説を掲げたこ

とに對し、強く抗議する」「今回のような一國の元首を誹謗・中傷する悪意に満ちた記事が掲載されたことに対し、日本国政府としては、驚愕と不快の念を表し、強く遺憾の意を表明する」などのべていました。抗議をうけた英国外務省スポークスマンは声明をだし、「英政府は謝罪を求められていないし、謝罪を申し出もしなかった。よく知られているとおり、イギリスには報道の自由があり、新聞はみずからの見解を表明する権利がある」と表明、英紙には天皇報道の自由があり、日本政府の抗議に取り合わないという態度を示しました。もともと英国では王室が新聞やテレビ報道で風刺の対象となることもあり、「王室タブー」などは存在していません。英二紙も日本政府の抗議に猛然と反論しました。二十三日、サン紙は一面に千葉大使の抗議文を全文掲載するとともに

天皇問題と世界のジャーナリズム



天皇報道への日本政府と駐英日本大使からの異例の抗議を1面で大々的に伝え、抗議に反論する9月23日付の英紙サン（右）とデーリー・スター

乗せられた」「おたくの新聞の品性はそんなものかね」と苦虫をかみつぶしていいものぞ、かえって火に油の外務省抗議。日本を中心に天皇を中心とする世界は回っているわけではない（毎日新聞九月二十四日付朝、夕刊）として、日本政府が抗議などせずに黙っていられたらよかったという見方もなされています。たしかに両紙は、いず

れた残虐行為を非難するなかで、残虐行為を終わらせたとして、アメリカによる日本への原爆投下まで正当化するという容認できない態度も示しています。しかし、こうした新聞の性格もありますが、両紙が提起したのは、天皇の戦争責任という根本問題です。両紙のこうした性格を十分承知して

かには両紙は、いずれもタレントや英王室のゴシップ、モード写真をのせて部数を増やしてきた大衆紙です。一九八二年のフォークランド紛争のときには、「アルゼンチンをやっつけろ」というような、偏狹な民族感情をあおりたてることもやっています。これらの天皇批判記事にも、日本人のべつ称であるジャップという用語がたびたび使われています。さらには、天皇の名前を「ジャップ」などとおこなう

常識から落ちこぼれている。天皇の戦争責任は世界の常識だと思ふ。イギリスの大衆紙が天皇の戦争責任を追究したのはあたりまえで、本来は日本でおこなわれていなければならぬはず。逆に批判されて反論するのはどういふことか。西ドイツがナチの戦犯を追及しているのと比べ、あまりにもそんな色がある。反省もしないで、ますます天皇を擁護している。まったく理性がない。これでは、日本政府は世界から孤立する。こんな政府とマスコミをもって、日本人として恥ずかしい。——埼玉県浦和市の男性(二四)「デザイナ」から寄せられた声(「赤旗」九月二十九日)は、心ある多くの人の声でもあるでしょう。

天皇の戦争責任を追求する世論の国際的な広がりのなかで日本外務省は九月二十六日までに「日本政府の考えは英政府、英二紙に伝え、明らかにしており、今後、一切対応しない」との方針を固めました。世界の世論を刺激するのは得策ではないとの判断にもとづくものとみられています。しかし、二十七日、自民党の渡辺政調会長は英二紙の天皇報道が気に入らぬとして「英国の大衆紙は日本に支局があつて、特派員がいるのだから、支局があるなら閉鎖し、特派員がいるなら国外退去させるべきだ」と、自由な言論を封殺しようとするファシシヨ的な立場をあらわにし、政府・自民党の本音をのぞかせました。この渡辺発言にたいしては日本外国特派員協会が嚴重抗議をおこなっています。

日本共産党は、現天皇があの侵略戦争と人権抑圧の政治の直接かつ最大の責任者であること、また主権在民、基本的人権の尊重などは現憲法の大原則であり、象徴天皇制の規定をこの大原則のうえにおくことは絶対許されないことを指摘し、いま天皇にかかわるあれこれ、戦後の日本の民主主義の原点である侵略戦争と人権抑圧の政治への反省を忘却してはならないし、国民主権や基本的人権が規制されたり弱められてはならないと主張してきました。そして各地で起こっている地方自治体による見舞いの記帳所設置や計画されていた行事の「自粛」、さらには地方議会での天皇問題にからむ発言の封殺、懲罰などに強く反対してきました。

野望
彼の野望な兵隊が幾百万人も無防備な中国人を暴行、殺りくしたとき、彼はなにもしなかった。
幾十万人もの連合国の戦争捕虜が殴打、拷問され、餓死させられたとき、彼はなにもしなかった。
イギリスでは、戦争捕虜収容所で死んだ男女軍人一万二千四百三十三人の叫びの鐘が鳴らされた。
勝利が続いていた間は、ヒロヒトは世界の舞台のさばり、偉大な將軍として輝きだした。
政敵が確実になったとき、彼はその「神話」を脱ぎ捨てて、その値打のない首を被った。
彼はなお、彼が災いと原爆の惨禍に導いた騙され易い、迷信深い国民にたいする支配を維持していた。

凶性

このため、連合国は、彼の国が人間の品性に立ち戻る過程をたどる間、彼に表看板を勧めさせた。
おそらく当時、それには政治的意味があつたのだらう。
しかし、そのことが悪の怪物の手に、辱めを受けて生涯を送れることにならぬことを願う。

浮き彫りにしたことです。しかし、歴史の真実は、天皇こそあの侵略戦争と暗黒支配の最高最大の責任者であつたことを示しています。天皇の責任で遂行された侵略戦争で日本国民三百十万人、中国、東南アジアなどで二千万をこえる人々が犠牲になりましたが、この最高最大の責任者が天皇であることはけつしてあいまいにしてはならないことです。さらに見逃せないのは、日本政府が英国政府、英紙に抗議した中で天皇をわが国の「元首」とよび、天皇を「元首」扱いしていることです。戦後の民主主義は、天皇を最高責任者とする侵略戦争と暗黒政治の否定、その徹底的な反省に立つて出発しています。日本を占領したアメリカの日本統治の思惑から、天皇は戦犯として裁かれる運命をまぬかれ、憲法では「象徴」として残されました。

偽りの報道で、真実の告発を押し止めることはできません。政府・自民党、商業マスコミは一体となって目にあまる「天皇美化、賛美」のキャンペーンを続けていますが、日本と世界の良識は天皇の戦争責任という根本問題をきびしく追及してやまないでしょう。
(「けし」のぼる「赤旗」外務省記者)

地獄が極悪天皇を待っている

英紙サン九月二十一日社説

ヒロヒト天皇が死の床に就いているとき、悲しむには二つのわけがある。

- 第一は、彼が生きただけ生きたことだ。
- 第二は、この暴力的世紀のもつとも汚らわしい犯罪のどれも罰せられず死ねることだ。

われわれにはけつして分らない。しかし、彼が死ねば、彼にはまぢがいなく地獄の特別席が約束されているだろう。

衰える悪の申し子

英紙デーリー・スター九月二十一日社説

そのスマートなモーニング・スーツと眼鏡からは、ヒロヒト天皇は温厚な日本の老紳士に見える。
しかし、幾千人もの同盟国の軍人とその家族にとっては、彼はやはり、無慈悲な悪の象徴である。
ヒロヒトの名のもとに、数えきれない犠牲者が筆舌に尽くしきれない残忍さで殺された。彼の名のもとに、数えきれない多くの人が、自分自身の変態的快楽のために苦痛を与える拷問者たちによって傷を負わされた。ビルマ鉄道

神皇の降臨—ローマに神の帝国を支配した

英紙デーリー・スター九月二十一日

世界のラスト・エンペラー、日本のヒロヒト天皇陛下は昨夜、死に迫つた。四時間二回の輸血をおこなつた。

そして、彼が政敵の六十二年ぶりに、辱めを受けて生涯を送れることにならぬことを願う。

二六六年に皇位に就いた。彼は現人神と崇められ、彼の臣民は彼を見るのを禁じられた。
しかし、権力の見かけに惑わされず、ヒロヒトは力の弱い統治者として日本の強大な戦争機構をつくりあげた。臣民たちにはやすやすと操られた。
ヒロシマで終わった破局は、二二二二年代の中国への侵入で始まった。
無慈悲な日本帝国主義は、東洋のほとんどの土をばやく広げた。
それから、アメリカを戦争の犠牲者とした宿命的なパール・ハーバー攻撃は、爆撃にいたつた。
ヒロヒトは、彼の熱狂的な臣民を苦しめた数えきれない数千人の犠牲者からヒロヒトラーとよばれた。戦争の終結後も嫌われた支配者となつた。
彼は、ヒロシマの爆撃に、彼の臣民が特別な、世界を支配する運命をあたへた人種であると考えた。
ヒロヒトの不可能な夢はついに、彼の血塗れの帝国を屈服させた原爆によって打ち壊された。
しかし、彼の尊大さは残っていた。日本の敗戦をラジオで発表する時、彼は降伏という言葉を用いた。彼は、

辱めを受けて生涯を送れることにならぬことを願う。

「この世には、多くの人がヒロヒト天皇に
り悪い人殺しと思われていたが、懲罰は
免れた。
しかし、連合国はすべての政治権力を
彼から剥奪した。そして、幾百万人もの
彼の国の人は、日本を大混乱に陥れたと
して、彼を許して許しはしない。
ヒロヒトは、彼の国が荒廃から目ざま
しく立ち上がったとき、かけ離れた表看
で、彼を許して許しはしない。」

「しかし、彼の前に喜んでぬかづく日本
人がまだいる。
そして、皇室は彼とともに死ぬことは
ない。
五十五歳のアキヒト皇太子は、その父
親の枕元で、ほとんど権力の残っていない
ものを継承するのを待っている。」

千葉一夫駐英日本大使の抗議の書簡

日本国政府は、九月二一日付「サン
紙」に「地獄が極悪天皇を待っている」
と題し、日本国の元首である天皇陛下を
誹謗する社説を掲げたことに對し、強く
抗議する。

日本と英国は現在、双方の努力により
極めて緊密な友好協力関係を発展させて
きている。

また両国の皇室・王室間の長期にわた
り親密な関係があるが、特に一九七二年
の天皇陛下の御訪英、七五年のエリザベ
ス女王陛下の御訪日等を通じてこれが一
層増進されてきていることは喜ばしい。

天皇陛下は、日本国及び日本国民統合
の象徴であり、常に平和を希求してこら
れた。その御信念に對し日本国民は深い
敬愛の念を有している。

現在天皇陛下の御病気が伝えられてい

第二は、彼がこの暴力的世紀のもつと
も汚らわしい犯罪のどれも罰せられず
死ぬことだ。
反応は素早く、うろたえたもののだ
た。

ロンドンの日本大使館は、最初サン紙
に興奮した口頭の抗議をおこない、外交
官がわれわれの事務所を私的に訪問す
るに感した。

それから、千葉一夫大使から編集長に
「元首にたいする侮辱」を告発する抗議
の書簡が送られた。

しかし、彼は最初、彼の意志を当局に
示すためそれを「悲しみにくれた様子
で」外務省にもつていった。

外務省スポークスマンは昨夜、つぎの
ように語った。「大使はサン紙が書いたも
のについて外務省に抗議はしなかった」。

「彼は来て、外務次官、パトリック・ラ
イト卿に会い、慣例にはずれて、サン紙
に送られたものとして持っているものテキ
ストを見た」

「大使はどこか悲しそだった。彼は
友好国の新聞が、彼らの天皇が死にひん
んでいるときに、こんなことをしたことに
逆上していた」

テキスト

サン紙スポークスマンは昨夜、次のよ
うに語った。「サン紙は、わが国と日本
の友好関係という大使の願いに共感す
る」。

るところ、今回のような一国の元首を誹
謗・中傷する悪意に満ちた記事が掲載さ
れたことに對し、日本政府としては、驚
愕と不快の念を表し、強く遺憾の意を表
明する。

同記事が、英国及び英国国民全体の心情
を反映するものではないことを確信す
るところ、今回のような一国の元首を誹
謗・中傷する悪意に満ちた記事が掲載さ
れたことに對し、日本政府としては、驚
愕と不快の念を表し、強く遺憾の意を表
明する。

ジャパン、サンに反撃

ひん死のヒロヒト天皇についてのサン
紙の捕撃の社説をめぐって昨日(九月二
十二日)、世界的な外交的騒ぎが起きた。
ロンドンでは、日本大使が「地獄が極
悪天皇を待っている」の見出しの社説に
抗議する異例の手紙を編集長に送った。

「われわれは日本人の才能とエネルギー
に感嘆する」
「わが紙はつねにわれらの勤勉さと進
取の心を、わが国の手本として賞賛して
きた」

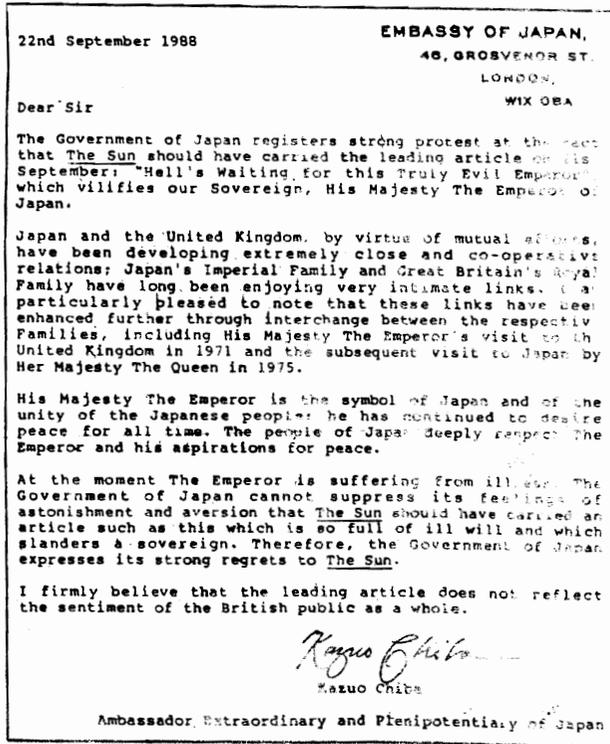
「われわれは確かに、大部分がこの前
の戦争のときには生まれていなかった男
女に過去の罪を問うつもりはない」
「しかしながら過去をまったく忘れる
ことはできない」

「われわれは彼らの手におちたイギリ
スの男、女、子供たちについて苦痛な
虐待を忘れることはできない」
「われわれは、近代戦時慣習に反して
悪名高いビルマ鉄道での労働を捕虜に強
制したことを忘れることはできない」

「われわれは、一万二千四百三十三人
の捕虜が、その多くが残忍さと故意の飢
餓の直接的結果に死んだことを忘
れることはできない」
「千葉氏は、天皇は日本の象徴である
という」

「われわれは、それは事実だと認める」
「彼は戦時中日本の象徴であった。そ
れ以上であった。彼の国民の多くは彼
を神と見なしていた。彼とそのように行
動した」

サン紙が1面に掲載した千葉一夫駐英大使の抗議の書簡



連合王国駐劄特命全權大使 千葉一夫
(テリー・スターあてもほぼ同文)

英紙サン九月二十二日

東京ではイギリス大使ジョン・ホワイ
ト(ヘッド卿)が、われわれの行為
の説明のため日本外務省に召喚された。
さらに、「われわれはこの社説を国家
元首の尊厳への侮辱と考える」という日
本政府の声明が出された。

日本人が反撃したのは、サン紙が、八
十七歳のヒロヒトが死の床にあり、悲し
むには二つのわけがある、と報じたのち
のことである。
第一は、彼が生きただけ生きたこと
だ。

日本、テリー・スターに宣戦布告

英紙テリー・スター九月二十二日

日本は昨日、テリー・スター紙に驚
くべき攻撃を浴びせた。
東京の政府関係者は、スター紙が社説
のなかで、ひん死のヒロヒト天皇を「無
慈悲な悪象徴」と書いたことに公式の
不快を表明した。

われわれは、第二次世界戦争中に日本
の残虐行為の犠牲となった無数の人びと
がヒロヒトの名のもとでどのように虐殺
され、拷問にかけられたのかを語った。
日本政府は社説によって「深く傷つけ
られた」と日本外務省は発言している。

わが社のコメントは「まったく口ぎたな
い毒舌である」ともいっている。
この抗議のあとに、ロンドン駐在の
日本大使からスター紙編集部のブライ
ン・コンチン氏に送られた書簡がつけ
いた。

支持されて
その書簡は、彼らの元首に悪意を
ち、誹謗しているとスター紙を非難し
た。

書簡は、女王陛下の御用記者として
「日本は皇室をイギリスの王統は長期に
わたってひじょうに親しい関係を享受し
てきた」といっている。

「ヒロヒトは、彼らの元首に悪意を
ち、誹謗しているとスター紙を非難し
た。」

「彼は、ナチス指導者がそうされたように、戦争犯罪人として裁かれるべきであつた。われわれは、ユダヤ人が毒ガス室を忘れることができないのと同様に、わが国の若者が被った残虐行為をけしんで忘れることはできない」

トンプキンス氏は、日本軍の収容所などで生きたがらえようとした数多くの捕虜を目の当たりにしてきた。「それは恐ろしい光景だつた。人間が別の人間によってあのように扱われようとは信じがたいことだつた。彼らはまさに骨と皮だつた」と彼は語つた。

そして彼は、天皇がこの恐ろしい出来事を個人的には知らなかつたという説を退けた。「彼は日本人にとって神であつた。彼はナンバーワンの統治者であつた。現在の彼のような看板ではなかつた。彼は国を統治してゐたのであり、知つていたにちがいない」。トンプキンス氏はこう語つた。

「彼が死んだところで、わが協会のなかで涙を流す者はだれもないだろう」と、彼はつけ加えた。合計一万二千四百三十三人のイギリス人戦争捕虜が収容所で死亡した。その多くは、映画「クワイ河にかかる橋」で有名なビルマ鉄道の収容所であつた。さらに幾千人もが野蛮な拷問と窮乏に苦しんだ。

日本はその抗議のなかに、わが社の社説が「イギリスの政府と国民の感情を代表してゐない」と確信してゐるとのべた。しかし昨夜ラジオ4がこの話を取り上げると、デーリー・スター紙にはわれわれを支持する電話が殺到したのだ。それでは、みなさんの考えを知らせていただきたい。

悪魔と盟約を結んだ神

英紙デーリー・スター九月二十三日

アンソニー・イーデン外相は静まりかへつた下院の前に、「重大なお知らせがある」と伝えた。彼はつづいて国民に、日本の捕虜となつたイギリス人、オーストラリア人、インド人がどんな状況であるかを語つた。

「ささいな規律違反のために残虐に拷問される。餓死させられ、処刑儀式で背中を銃剣で刺殺される。●木柱に磔にされ、薬も適切な手当ても拒否され、そのために、おそるべき死にいたる。そして、外相はその恐怖のカタログを次のような言葉でしめくくつた。「日本政府に、この戦争の軍部当局の記録は忘

ヒロヒトのもとでおこなわれた残虐行為をデーリー・スター紙が非難したのは正しかつたでしょうか。みなさんの意見を記録するため以下のいずれかの番号に電話してください。電話番号

イニスの場合 〇八九八 六六六七八〇
ノーの場合 〇八九八 六六六七八一

「彼らはほとんど信じがたい蛮行の罪を犯した。ところが、戦争が終わつて初めて、世界はその恐怖の全容を知つたのだ。ジャップたちは、ヒトラーの最終的解決の自国版を遂行に移そうとしていた。極秘の日本の国防文書——ヒロヒト天皇も知つていたにちがいない——は、台湾で収容されてゐたイギリス、オースト

リアの戦争捕虜幾千人の終りを求めていた。ことし早くに発掘された背筋も凍るメスは以下のようにのべている。「一人ずつでも、集団でも、あるいはいかなる方法でも——大量爆撃、毒ガス、毒殺、溺死、首切りその他なんであれ——、彼らを処分せよ」。

「その目的は、彼ら全員を絶滅させ、いかなる痕跡も残さないことである」ワシントンアメリカ戦争公文書館で見つかったこのメモは、元イギリス人の戦争捕虜、ジャック・エドワーズによつて、その著書「バンザイ、貴様ら畜生ども」のなかで暴露された。

虐殺は広島と長崎にたいする原爆投下によつてようやく阻止されたのだ。ジャップの最悪の蛮行の一つは、満州占領地域にあつた悪名高い七三一部隊「研究センター」での、戦争捕虜三千人の系統的殺人であつた。それらの科学者の多くが罰せられないまま——アメリカのダグラス・マッカーサー將軍の恩赦によつて——、そして今日、彼らは日本の病院や薬品会社で重要な地位を占めてゐる。

生存者たちは、弱つたイギリス兵たちが細菌兵器の実験のモルモットとして、どれほど痛ましく使われたかを語つた。その忌まわしい実験には、炭疽熱、赤

痢、コレラを含む細菌の死のカクテルを虜囚に注入することも含まれてゐた。ジャップが忘れたがっているもう一つの大量虐殺は、秦嶺鉄道とクラ鉄道の建設で死んだ六万二千三百三十三人の男女、子供たちのことである。

ヒロヒトの軍隊は、世界でもっと深いジャングルを通して通路を手作業で開こうと、あらゆる国籍の——数千のイギリス人も含めて——七万三千五百二人の捕虜を使った。わずか一万二千二百六十九人が生き残り、彼らの多くが後に、その訓練の後遺症で死亡した。

もう一つの恥すべき日は、シンガポールのイギリス・アレクサンドラ軍事病院での赤十字大虐殺である。七人の医師、三人の歯科医、一人の牧師、七十人のRAMC員、二百五十人の患者とスタッフが連行され、二人ずつ銃剣で刺殺された。この殺りくについては、ここまでなんの説明もなされてゐない。

ロンドンに本紙が正しく8%が回答

英紙デーリー・スター九月二十三日

電話アンケートに答えた本紙読者の93%以上が、病める天皇へのわが編集部非難は正しいとのべた。さらに数百人が本紙ニュース・デスクに電話を寄せ、支持を表明した。

ヒロヒトの指揮下で、いかに数えきれない犠牲者が亡くなつたかをのべた本紙スター紙の社説にたいし、日本政府は公式抗議をおこなつた。アイリー・スター編集長、フライアン・ヒッチェン氏は、ロンドン駐在日本大使にあつた書簡(後掲)で、その抗議に返答した。一方、外務省は昨日、日本に對準して

「われわれは謝罪を求めらるゝことをいふに謝罪を申し出さなかつた。それは恥ぢられてゐるとおり、イギリスには報道の自由があり、新聞はみずからの見解を表明する権利がある」

デーリー・スターに個人的に電話を寄せた多くの支持者のなかには、小説家のバーバラ・カウートランドさんという。彼女は親友のマウントバットン卿が戦争中、日本の行為にどうして怒つたかについて話した。

「彼はその後ずっと日本人を嫌つてゐました。許すことも忘れることもけしんでできなかったのです」

「戦後、彼は二度日本人の手に触りたくないといつていました。でも天皇がロンドンにきたとき、女王が彼に会うよう主張されました。マウントバットン卿は本當に会いたくなかつたのです」

「戦中、彼は二度日本人の手に触りたくないといつていました。でも天皇がロンドンにきたとき、女王が彼に会うよう主張されました。マウントバットン卿は本當に会いたくなかつたのです」

「戦中、彼は二度日本人の手に触りたくないといつていました。でも天皇がロンドンにきたとき、女王が彼に会うよう主張されました。マウントバットン卿は本當に会いたくなかつたのです」

拝復 大使 殿(日本大使への返書)

英紙デーリー・スター九月二十三日

閣下。あなたの心情をお察しします。しかし現代日本の一市民として、私は、あなたにたいして、あなたも知りにならな

「スター紙の攻撃はイギリス国民全体の心情を代表するものではないと考へる、とのべておいてです。」

私はイギリス国民全体を代弁することはいけません。しかし、あの記事へのわが読者の反響については、あなたにお伝えすることが出来ます。

私たちが読者に、天皇の名において、イギリス人、オーストラリア人、アメリカ人の戦争捕虜にたいし日本軍人によって加えられた殺人的残虐行為を、本紙が暴露したのは正しいか正しくないか、電話で答えるように要請したことを、あなたも存じてしょう。

裁決

私たちは判断を読者に委ねました。以下はその裁決です。九三・二%がデーリー・スターのとった立場に賛成し、反対はわずか六・八%でした。

第二次世界戦争の野蛮な時代から、世界はすすんできました。ところが、戦争の流れを指導した責任者のなかには、今日まで生き残っている人もいます。

現代日本はいまや懸命に働く、勤勉な国民からなる上昇気運のハイテク国家です。あなた方は世界中に工場、銀行、商業機関、財産をもっています。しかし、今日、真に受け入れられるためには、まず過去を知り、その過去が体現していた悪をすすんで公然と認めることが必要です。

ロシア民族はちやうどいま、この数十年間、責任はなかったというだけでは十分ではありません。たとえ天皇は真の政治権力をもたなかったといわれるにせよ、戦争を終わらせた天皇は、きつと最初に戦争を始めることを阻止しようとするくらいはできたはずでしょう。

日本の天皇裕仁、病重く死に瀕す(抄訳)

シンガポール紙、聯合早報九月二十七日

裕仁が八十七歳という高齢まで生きることができたのは、得がたく貴いことでもある。彼の祖父の明治天皇は六十一歳で天命を全うし、父の大正天皇は四十七歳でなくなったが、裕仁は六十三年在位することができた。明治天皇は絶対王権を再興し、あちこちに征伐をすすめる、国土を開拓したが、裕仁が経験してきた曲折も實際上、明治天皇におとらないものである。裕仁天皇の昭和時代、日本の野心はさらに大きくなり、中国全体を征服しようとしたばかりか、いわゆる「大東亜共栄圏」をうらたてようとした。最後には、原爆の洗礼にあり、無条件降伏を公に宣言するまでおちおちした。彼は戦犯となつて刑を受けることもなく、厄運から逃れることができたことは、確かに運がよいといえるだろう。

裕仁天皇の近きでシンガポール人はどんな反応をするだろうか？日本人の同業者はすつとこの問題を提起してきた。数多くの青年に尋ねたが、彼らの印象では、天皇と小説や映画の「将軍」のようなものという混同がある。背の曲がった小さな老人がなんで現代の日本の皇帝な

「動きパチの現代日本人が、ついにロシア人の例になつて過去の悪業を認め、それを謝罪すれば、世界の目に映る日本の地位は飛躍的にあがるのではないのでしょうか。」

そうすれば、閣下、私たちは本当に新しいスタートを切ることが出来ます。し

敬具
ブライアン・ヒッチェン

昭和治世のたそがれ(抄訳)

タイ紙バンコク・ポスト九月二十三日

ヒロヒト天皇は六十年余の間日本国民の生活の一部であったが、国民のほとんどと世界にとってなおもミステリーである。彼は神なのか、戦争犯罪人なのか、はたまた温厚な海洋生物学者なのか。彼はその八十七年の間にその三つともだと考えられてきた。

彼はいろいろな点で、真に日本の「ラス・エンペラー」である。ヒロヒトは公的に神と見られつつその治世を開始したが、彼の息子、アキヒト、皇太子は普通の人間としてその治世を開始しようとしている。

彼は若かりしころの軍服は、皇居の庭をぶらついて植物を観察するとか、彼の個人研究所でクラゲの実験を指図するのに立ち現れるときの種やかなスーツと麦藁帽子に代わった。

しかし、戦後民主主義の日本の新しい時期に、幾世紀も皇室を覆ってきた「菊のカーテン」は、皇室を取り巻く「御儀」によってしぶしぶ開けられてきたにすぎない。

幾百万人もの日本兵は、全アジアをこ

られたことや、毎朝東京に向かって「宮城遙拝」をしたつらい記憶を連想する者もいる。

……。たとえ現在の日本がすでに経済大国、現代化された国家に発展したとはいえ、思想・イデオロギーはなお古い枠を脱していない。東南アジア人が昭和の終わりにたいし、さまざま矛盾を感じ、万感こもこも到るといふ気持ちになるのも、もつとむづかしいのである。

天皇重体―東京が暗い(抄訳)

南朝鮮紙、中央日報九月二十八日

東京が暗くなつて、ヒロヒトは日本の天皇の危殆を知らずにはおられない。週刊「朝日」は、政府、内閣、外務省、各官庁、新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、各メディアが、天皇の健康を祈っていること、大々的に書き立てている。このみに限らず、他の感

「女性自身」は、天皇の写真を誤って掲載したことを謝罪し、発売を中止する騒ぎをのぞきこし、新聞、出版界は緊張状態にある。

RODの戦中戦後の役割で日本世論割れる抄訳

英紙デーリー・テングラフ九月二十七日

「ROD」は、戦中戦後の役割で日本世論割れる抄訳

頑強な反天皇制論者の日本共産党は、我が国を「ロヒト」を利用して天皇の戦前の地位を回復し、国民をその玉座の後に勤王しようとする強力な圧力があつて批判している。

「天皇の病氣や死なざるを機として、民主主義の諸原則を破綻させようとしている」と、共産党の「赤旗」が掲載した。同党の上野清一郎が掲載した。同党の上野清一郎が掲載した。同党の上野清一郎が掲載した。

「日本の大半は加瀬の見解にのみし、しかも加瀬は、侵略者といふよりも戦争の犠牲者としての自己認識の強さを強めて民族を想起させている。」

「加瀬は、疑いなく加瀬をその反動勢力のリストに含めているが、『戦前の絶対主義的天皇制の復活』を促進しかねない政府の動きに警告を発している。」

この警告は、自治省が地方議会に病気の八十七歳の天皇のために黙禱をおこな

月五日の決議一一五八(XL)を想起し、

戦争犯罪及び人道に対する罪の訴追及び処罰にかんするいかなる正式の宣言、文書又は条約も時効について規定しなかつたことに留意し、

戦争犯罪及び人道に対する罪が国際法における最も重大な犯罪に属することを考慮し、

戦争犯罪及び人道に対する罪の効果的処罰がこれらの犯罪の防止、人権及び基本的自由の保護、諸国民間の信頼の奨励と協力の推進、並びに国際の平和と安全の促進における重要な要素であることを確信し、

通常の犯罪の時効に関する国内法規則の戦争犯罪及び人道に対する罪への適用はこれらの犯罪に対する責任を負う者の訴追及び処罰を妨げるがゆえに、世界世論にとつて重大な関心事であることに留意し、

戦争犯罪及び人道に対する罪にとつて時効は存在しないという原則を、本条約を通じて、国際法において確認し、並びにその普遍的適用を確保することが必要かつ時宜に適つたものであることを認め、

第一、本条約の目的は、その犯行の時効に關係せず、時効は適用されない。

うよう指示したときにおこなつた。全国の地方自治体はすでに、本校の運動会や祭りや祝いごとの中止によつて悲憤を示すことに懸命になつてゐる。

「天皇の容体や服喪に於いて著しい見合おせたり町市村の祭りを中止して大騒ぎするのは、わが国の民主主義的価値を疑わせるものだ」と「赤旗」主張している。

「昨夜、東京の毎日新聞社の建物の前に警官が配備された。天皇が死された。」

「日本外国特派員協会、言論の自由の原則は、英紙「サンデー」に「」に掲載された天皇裕仁に関する記事と社説を理由に両紙の記者は日本から退去すべきだ」とした自民党の渡辺美智雄政調会長の見解に懸念をもつて注目している。

渡辺氏は言論の自由の原則は理解しているとのべたと伝えられているが彼はつづけて「ある種の事がある」とのべている。しかし、言論の自由の原則は、まさに自由ということであつて、「ある種の事がある」に制限が適用されてよいというものではない。

私たちは、言論の自由の制限が自民党

ベルク国際軍事裁判所条例において定義され、かつ国際連合総会の一九四六年十二月十一日の決議九五(二)により確認された戦争犯罪、特に戦争犠牲者保護のための一九四九年八月十二日のジュネーブ諸条約にあげられた「重大な違反」。

(b) 戦時に犯されたか平時に犯されたかを問わず、一九四五年八月八日のニュールンベルク国際軍事裁判所条例において定義され、かつ国際連合総会の一九四六年二月十三日の決議三(二)及び一九四六年十二月十一日の決議九五(二)により確認された人道に対する罪、武力攻撃又は占領による追立て及びアパルトヘイト政策に基づく非人道的行為、並びに一九四八年の集団殺害罪の防止及び処罰に関する条約(ジェノサイド条約)において定義された集団殺害罪。右の行為はその犯罪の行われた国の国内法の違反を構成するか否かを問わない。

第二条 第一条にあげられたいづれかの犯罪が犯される場合、本条約の規定は、主犯者又は共犯者として、完了の程度にかかわらず、これらのいづれかの犯罪の犯行に参加し又は他の者を直接教唆し、若しくはその犯罪を共謀する国家当局の代表及び私的個人に、それぞれ適用される。

第三条 本条約は、本条約の目的を達成するために必要と認められる範囲で、

本条約は、本条約の目的を達成するために必要と認められる範囲で、

本条約は、本条約の目的を達成するために必要と認められる範囲で、

問題は「サンデー」(デーリー・スター)が天皇の戦時の役割についてとつた立場ではなく、日本における外国人特派員の自由を制限する言外の脅威であり、この点に私たちは強く抗議しなければならぬ。

私たちは外務省が、これらの新聞のスタンプが来日することがあつても差別はないと表明していることに喜びをもつて注目している。

私たちは、真実には、日本社会のある集団には不愉快であつたり、歓迎されな

「(外国特派員協会英文テキスト)

天皇問題

理解し難い事態



天皇問題と関係するタイ英字紙。英紙サンデーリー・スターの記事の紹介も

タイ知識人が天皇に態度表明

【バンコク三浦一夫特派員】天皇の葬儀は、タイで大きく報道されています。タイの知識人は多く、天皇の葬儀は多岐にわたる。タイの知識人は、天皇の葬儀をめぐって、さまざまな意見を述べています。タイの知識人は、天皇の葬儀をめぐって、さまざまな意見を述べています。タイの知識人は、天皇の葬儀をめぐって、さまざまな意見を述べています。

政府の姿勢をめぐって、タイの知識人は、天皇の葬儀をめぐって、さまざまな意見を述べています。タイの知識人は、天皇の葬儀をめぐって、さまざまな意見を述べています。タイの知識人は、天皇の葬儀をめぐって、さまざまな意見を述べています。



台湾の新聞。戦争責任問題、日皇の死をめぐって、台学界の議論が激化している。日皇不死先刊徳文

天皇の戦争責任

アジアの国民は忘れない

シンガポール 社会主義戦線議長
リー・シユーチョーさん

【マニラ一日宮崎清明特派員】第二次大戦中の一九四二年から三年間、日本軍政下で「昭南島」と改称せられ、虐殺、徴用などで多くの犠牲をだしたシンガポールでは、日本での天皇賛美と政治的利用の動きをどうみて

歴史的にいつ、天皇ヒロヒトがアジアへの侵略戦争を遂行した最高責任者であったことはまぎれもない事実だ。

一九四二年一月、シンガポール運動の支持者「掃」を口実とした。犠牲者の数は五千人か

日本のシマラタの歴史を伝える日本軍政降伏記念館内の展示—シンガポール (送給清明特派員撮影)

シンガポール紙
天皇の戦争責任
台湾でも問題に

なされることになり、きわめて重大です。実際にいま日本の右よりの評論家や政治家がそうした論陣を公然と張り、天皇制強化を唱えているとの報道には懸念せざるをえない。そうした傾向が強まるのは日本の未来にとってだけではない。タイ、東南アジア各国にとっても憂慮すべきことである。

進歩勢力を中心に、日本の国民がこうした風潮を抑え込み、かじとりをやまらないうちに見守っているとの同僚の言もまた、この国の良心的な人々の共通の期待といえます。

た、かつての日本軍国主義の犯罪をもうろちという傾向には不快感を覚えるというI氏の声は、タイのマスコミの表面にストレートには登場しませんが、この国の良心的知識人の共通の声、懸念であるといえそうです。

やはり日本に三年ほど研究滞在したことがあるバンコクの著名大学のM教授は、自分の経験から日本の青年はもはや天皇制に関心をもっていないように思っていたが、としないが、こう語りました。

「かつての日本軍国主義の行状を忘却する」という作業が、天皇の死あるいは病状悪化という状況を利用しておこ

「あまりにも異様ですね。タイは憲法にもはっきり規定された王制国家で国王の力は強大ですが、そのわれわれの目からみても理解しがたい。天皇を神とみていた戦前の思想の名残かそれとも新たな復活なのか」

われわれは英大衆紙サンなどのようなきつい口調には賛同しないが、これにかみつき、報道に制限を加えるかのような日本政府の姿勢、ま

た、かつての日本軍国主義の犯罪をもうろちという傾向には不快感を覚えるというI氏の声は、タイのマスコミの表面にストレートには登場しませんが、この国の良心的知識人の共通の声、懸念であるといえそうです。

やはり日本に三年ほど研究滞在したことがあるバンコクの著名大学のM教授は、自分の経験から日本の青年はもはや天皇制に関心をもっていないように思っていたが、としないが、こう語りました。

「かつての日本軍国主義の行状を忘却する」という作業が、天皇の死あるいは病状悪化という状況を利用しておこ

(第三種郵便物認可)

神格化復活の恐れ

南朝鮮紙「天皇報道など批判

〈中央日報〉

【ソウル二十八日時事】韓国の夕刊紙中央日報は二十八日、東京発の特派員電で、天皇の病状悪化に伴う日本国内の動きを伝え、「風化したよろいに見えた天皇の神格化がふたたびよみがえるかもしれない」と憂慮を表明しました。

同紙は、自由言論を誇ってきた日本のマスコミは「国民が天皇の快癒を祈っている」ことを強調するのにならぬと指摘。マスコミ労組関係者の発言を引用する形で、「天皇賛美」色の報道は冷静さを欠く、「天皇にかんする限り言論の自由がない」などの声を伝えています。

「特派員追放」の渡辺発言

デーリー・スターも批判

【ロンドン二十八日夏目雅一特派員】先週天皇戦犯告発記事に掲載した英大衆紙デーリー・スターは二十八日、自称「ふたたびわれわれに挑む」の見出しで伝えるとともに社説を掲載、「ヒロヒト

は世論の対応で、ルモンドの世論調査では七二%が「古い傷口を開くことがあっても正義が追及されなければならぬ」と回答しました。

フランスでは、第二次大戦中のナチの占領支配にたいするレジスタンスは、文字通り国民的規模でたたかれ、共産党がその先頭に立ちました。その伝統は現代もおおきく、ナチスに殺された人々のことを忘れてはならない」と叫びました。シャパンデル

ドゴールとともにナチ闘争をたたかいた人物。日本と風土の違いを云々。

そんな欧州の風土に挑戦するかのよう、レーガン米大統領は八月五日、ボン・サミット(西側主要国首脳会議)出席後に西独ピットブルクのナチの墓を訪問しました。このときルモンド紙は社説で「ワシントンのモラルの混乱」と指摘。パリ在住の老婦人は「レーガンがパリにきたら大デモが起こるのに」と怒ったものでした。

同時に、対独抵抗の経験を

今なお 戦犯裁判

フランス

保守政治家もナチに厳しく

「ヒトラーもムッソリーニもファシストの敗北とともに死んだ。同じ侵略戦争の責任者であるのに、ヒロヒトが今だに君臨しているのはあなずけない」二年余り前、フランス人の知人が語っていた言葉です。

フランスの有力紙ルモンドは、最近の日本での異常な天皇報道について「ヒロヒトの病氣、埋もれていた過去を思い起こさせる」と指摘しました(本紙二十六日付)。

たしかにファシズム追及を戦後政治の原点にしたフランス人にとって、日本での天皇報道は、きわめて異常に映っているように見えます。

あくまで正義追求

ファシズムと戦犯に厳しいフランスを世界にみせつけたのが昨年の戦犯バルビーンにたいする裁判でした。ナチ秘密警察の仏リヨン地区責任者として第二次大戦中にレジスタンス闘士やユダヤ人など二万人を連行、虐殺した戦犯バルビーンを起訴し、仏法廷は「人道に反する罪」で終身刑を宣告したのです。注目すべ

天皇ある海外の目



86年10月、仏西部シャトープリアンでおこなわれたナチスによる虐殺45周年記念式典

(第三種郵便物認可)

ヒロヒト許しがたい人物

36年間、朝鮮を植民地支配

神社参拝、創氏改名、徴兵…

南朝鮮紙



長文の天皇批判論文を掲載した南朝鮮の週刊紙日曜新聞(十月一日)

南朝鮮の週刊紙日曜新聞(十月一日号)は、「日本王ヒロヒト、彼は何者か」「われわれには恨みのこもった名前」と題した、ジャーナリストのオ・ジュンドン氏の長文の論評を掲載しました。以下はその主要部分です。

第二次世界大戦の戦犯として、自ら日本人の尊敬を一身に受けて歴史のページを記録しなげているヒロヒト。

一言でいってわれわれにとつて彼は、日本帝国主義三千年間の植民地生活はもちろんのこと、今日の南北の分断の現実と不可分の関係にある許しがたい人物としかほかに評価のしようがない人物である。

わが民族が一九一〇年の韓日合邦後恥辱の歴史のなかで、暗黒の時期を送っていた一九二六年十二月二十五日、「昭和」なる年号で出発したヒロヒトの日本帝国は、敗戦にいたるまでわが民族に神社参拝を強要し、韓国語教育を抹殺し、創氏改名(訳注)朝鮮名を賜り日本人名に変えさせたことまで強要した。それは、

「マニラ八日宮崎清明特派員」フィリピンのマニラ・タムス紙八日付は一面で、東京発AP電を使い「天皇ヒロヒトの再臨は、天皇制の役割を再演している」と報じた。

「マニラ八日宮崎清明特派員」フィリピンのマニラ・タムス紙八日付は一面で、東京発AP電を使い「天皇ヒロヒトの再臨は、天皇制の役割を再演している」と報じた。

自民党は病気を利用

日本共産党は唯一強く反対

【マニラ八日宮崎清明特派員】フィリピンのマニラ・タムス紙八日付は一面で、東京発AP電を使い「天皇ヒロヒトの再臨は、天皇制の役割を再演している」と報じた。

【マニラ八日宮崎清明特派員】フィリピンのマニラ・タムス紙八日付は一面で、東京発AP電を使い「天皇ヒロヒトの再臨は、天皇制の役割を再演している」と報じた。

【マニラ八日宮崎清明特派員】フィリピンのマニラ・タムス紙八日付は一面で、東京発AP電を使い「天皇ヒロヒトの再臨は、天皇制の役割を再演している」と報じた。

【マニラ八日宮崎清明特派員】フィリピンのマニラ・タムス紙八日付は一面で、東京発AP電を使い「天皇ヒロヒトの再臨は、天皇制の役割を再演している」と報じた。

【マニラ八日宮崎清明特派員】フィリピンのマニラ・タムス紙八日付は一面で、東京発AP電を使い「天皇ヒロヒトの再臨は、天皇制の役割を再演している」と報じた。

天皇死後、改憲の危険

東南アジアに脅威

【マニラ八日宮崎清明特派員】フィリピンのマニラ・タムス紙八日付は一面で、東京発AP電を使い「天皇ヒロヒトの再臨は、天皇制の役割を再演している」と報じた。

【マニラ八日宮崎清明特派員】フィリピンのマニラ・タムス紙八日付は一面で、東京発AP電を使い「天皇ヒロヒトの再臨は、天皇制の役割を再演している」と報じた。

天皇なる海外の目

【マニラ八日宮崎清明特派員】フィリピンのマニラ・タムス紙八日付は一面で、東京発AP電を使い「天皇ヒロヒトの再臨は、天皇制の役割を再演している」と報じた。

【マニラ八日宮崎清明特派員】フィリピンのマニラ・タムス紙八日付は一面で、東京発AP電を使い「天皇ヒロヒトの再臨は、天皇制の役割を再演している」と報じた。

10/15

西独大統領

ナチ戦犯風化に警告

「ナチズムの悪影響」歴史家が明らかにしている事実は、ナチの犯罪を少しも緩和するものではない。十二日おこなわれた西独歴史研究所大会で講演した西独のワイツェッカー大統領は、ナチズムの問題に就いてこう強調しました。

マスコミも共感

西独では、ヒトラーの死後、歴史学が明らかにしている事実は、ナチの犯罪を少しも緩和するものではない。十二日おこなわれた西独歴史研究所大会で講演した西独のワイツェッカー大統領は、ナチズムの問題に就いてこう強調しました。

ヒロヒトに戦争責任

報道 伝紙 オランダで議論高まる



ワイツェッカー 西独大統領

【パリ十三日伴安弘特派員】「歴史学が明らかにしている事実は、ナチの犯罪を少しも緩和するものではない。十二日おこなわれた西独歴史研究所大会で講演した西独のワイツェッカー大統領は、ナチズムの問題に就いてこう強調しました。」

「ナチズムの悪影響」歴史家が明らかにしている事実は、ナチの犯罪を少しも緩和するものではない。十二日おこなわれた西独歴史研究所大会で講演した西独のワイツェッカー大統領は、ナチズムの問題に就いてこう強調しました。

天皇をみる海外の目

ヒロヒトの病気が発表されて以来、第二次大戦の古いうすきが再燃した。こととは中道右派連合の議会が迅速に政府に働きかけた。議員たちはヒロヒトの葬儀にはオランダ政府を代表するいかなる公式の代表も送らないよう求めたのである。キリスト教民主

はたどえばオランダ大使のような最小限の代表を出席させる方向に傾いた。ニューヨークでは先週フアンテンブルック外相が激怒し、どんなことが起きても自分が東京にいくと語った。突如として議院と政府の紛争が巻き起こった。そのとき

日本マスコミの異常さ指摘

重体めぐりフランス紙が報道

天皇は第二次大戦の大役者

【パリ十三日伴安弘特派員】天皇の重体について、二十一日の新聞は日本のニュースとしては珍らしい一面を披露している。

「ナチズムの悪影響」歴史家が明らかにしている事実は、ナチの犯罪を少しも緩和するものではない。十二日おこなわれた西独歴史研究所大会で講演した西独のワイツェッカー大統領は、ナチズムの問題に就いてこう強調しました。

9/23

自民役員会で英紙、「赤旗」攻撃

28

二十七日午前の自民役員会で、英国の大衆紙「赤旗」が天皇の戦争責任を追及する報道をおこなったことについて、攻撃する発言が出ました。

天皇報道

席上、渡辺政調会長は、「陛下にたいするはり雑言は目にあまる」と非難。戦争責任問題について、「東京裁判でも、陛下は戦争犯罪人ではないとなつてゐる」などのべ、東京裁判（極東国際軍事裁判）で、アメリカの政治的悪感から天皇を起訴しなかつた事実、これにより、天皇の戦争責任そのものが公式に裁

歴史を偽造し天皇の戦争責任追及を攻撃

渡辺発言

「赤旗」の病気をめぐる異常なマスコミ報道を批判していることを攻撃する発言も出た。「言論の自由があるから言論できる筋のものではない」との認識で一致したものの、今後、自民党機関紙「自由新報」で反論していくとしています。

問題 異常報道 規制に警告

東京が暗い」と南朝鮮紙

世界各地で、日本政府やマスコミのつくりだす天皇賛美の異常さへの「驚きと懸念」が高まり、天皇の戦争犯罪追及の声が広がっています。南朝鮮の中央日報二十八日付「天皇重体—東京が暗い」（既報）の詳報を紹介

東京が暗くなつてゐる。紺や灰色の洋服の波に変わらねた日本天皇の危急を知らせて、マスコミが一週間、輪を繰り返して、政府・官庁・マスコミは、多岐にわたる

新聞の特派員が日本にいれば、国外追放しなければならぬと大声でなげつけ、海外の言論が天皇に批判的な記事を書き、掲載できないようにおとしめた。

大衆参加者は、消費税率導入阻止に全力を捧げることを誓い合いました。

7面につづく



天皇陛下の御即位... 行事の自衛現象や元皇親... などに對し、「憲法が定める... 象徴天皇制の枠を越えてい... ると、異議を唱え、動き、... 静かな対応を求めている。... 天皇制に批判的な政治団体だ... けでなく、これまで天皇制に... についてあまり発言しなかつた... なかった市民団体や労働、職...

「天皇陛下の御即位... 行事の自衛現象や元皇親... などに對し、「憲法が定める... 象徴天皇制の枠を越えてい... ると、異議を唱え、動き、... 静かな対応を求めている。... 天皇制に批判的な政治団体だ... けでなく、これまで天皇制に... についてあまり発言しなかつた... なかった市民団体や労働、職...

象徴天皇とは... 広がる発言者

○危機感訴え

祭りの中止が増え始めた。日本キリスト教団など六教派、自由法曹団や三百十九人の弁護士、日本キリスト教協議会、十有志などのグループも声をあげてきた。シンポジウムを計画している「ビーバース・プラン」首脳まで電報を打った。仏教、キリスト教、神道などによ、21世紀の実行委員会がまたまた東京で開かれた。平和の集い、原水爆禁止日本協、ない」と緊急声明を出した。共を出した。民放労連や新聞労連、産党の機関紙「赤旗」は、自衛... などのマスコミ関係者をはじめ、思表示した。

また、日本中国友好協会や道は連日運夜、ほかの報道を切り捨てて、最先端され、宮内庁発表を編(○)のみにして画一的(○)章の実態

自衛元首儀式「元号」

神格化の風潮感じ異議

中国帰還者連誹会、オモニの会(在日韓国・朝鮮人の母の会)や支那関係、人の上に人がいる。よちな風潮を作らして、負う人々、兵庫東高砂市首領町の青年団や東京の巨馬、鶴馬、小平、札幌などの地域住民グループも、それぞれの立場から危機感を訴える。

○戦争責任は

約一月間公表された声明や申し入れは、いくつかの項目に分類できるようだ。

- ▽行事の自衛や弔意の強制への反対(例えば、「天皇の容(元号)停止」「二世三元は活には日々多様な哀歌が渦巻く憲法の主権在民と相入れず、歴
- ▽神格化阻止——「マヌシ(在日韓国・朝鮮人の母の会)や支那関係、人の上に人がいるよちな風潮を作らして、負う人々、兵庫東高砂市首領町の青年団や東京の巨馬、鶴馬、小平、札幌などの地域住民グループも、それぞれの立場から危機感を訴える。
- ▽外務省による元首扱い反対——「国政に關するいかなる権能も持たない天皇を元首とするのは憲法違反(憲法理論研究會)
- ▽皇位継承儀式——「神道行事を国家行事として行なうは、政教分離原則に違反(天皇制の復興・強化に反対する共同声明會)

▽元号停止——「二世三元は活には日々多様な哀歌が渦巻く憲法の主権在民と相入れず、歴



「天皇陛下の御即位... 行事の自衛現象や元皇親... などに對し、「憲法が定める... 象徴天皇制の枠を越えてい... ると、異議を唱え、動き、... 静かな対応を求めている。... 天皇制に批判的な政治団体だ... けでなく、これまで天皇制に... についてあまり発言しなかつた... なかった市民団体や労働、職...

地域住民も論議に参加

「天皇陛下の御即位... 行事の自衛現象や元皇親... などに對し、「憲法が定める... 象徴天皇制の枠を越えてい... ると、異議を唱え、動き、... 静かな対応を求めている。... 天皇制に批判的な政治団体だ... けでなく、これまで天皇制に... についてあまり発言しなかつた... なかった市民団体や労働、職...

「天皇陛下の御即位... 行事の自衛現象や元皇親... などに對し、「憲法が定める... 象徴天皇制の枠を越えてい... ると、異議を唱え、動き、... 静かな対応を求めている。... 天皇制に批判的な政治団体だ... けでなく、これまで天皇制に... についてあまり発言しなかつた... なかった市民団体や労働、職...

自民が処分を強

宮崎県議会 共産党発言に「不

天皇重体のもとで、政府・自民党は天皇美化や天皇の「元首」扱い、という異常な政治利用をすすめています。二十八日には、各地の県議会でも天皇の戦争責任や天皇美化の誤りを正面から指摘する日本共産党議員の発言「取り消し」を繰り返したり、質問そのものを妨害するなどの暴挙が相次ぎました。政府・自民党は、この暴挙に強く反発し、自民党議員が動機として出された「不穏当発言」として、三派です。

【設置】一、共社公民の全議員が欠席したまま、久島議員の、戒告処分、を強行しました。

共産党県委員会と同県議団は、翌二十九日に、戒告処分、はまったく不当であり、このような議会運営はファッ

【設置】一、共社公民の全議員が欠席したまま、久島議員の、戒告処分、を強行しました。

共産党県委員会と同県議団は、翌二十九日に、戒告処分、はまったく不当であり、このような議会運営はファッ

二十八日午後の東京都議会... 本会議で、天皇問題を取り上げた共産党、東原隆義議員の代... 自公民の賛成で休憩をと... について「不穏当発言の取... 消しを求める」と要求、共

「天皇陛下の御即位... 行事の自衛現象や元皇親... などに對し、「憲法が定める... 象徴天皇制の枠を越えてい... ると、異議を唱え、動き、... 静かな対応を求めている。... 天皇制に批判的な政治団体だ... けでなく、これまで天皇制に... についてあまり発言しなかつた... なかった市民団体や労働、職...

「天皇陛下の御即位... 行事の自衛現象や元皇親... などに對し、「憲法が定める... 象徴天皇制の枠を越えてい... ると、異議を唱え、動き、... 静かな対応を求めている。... 天皇制に批判的な政治団体だ... けでなく、これまで天皇制に... についてあまり発言しなかつた... なかった市民団体や労働、職...

東京では取消し要求

二十八日午後の東京都議会... 本会議で、天皇問題を取り上げた共産党、東原隆義議員の代... 自公民の賛成で休憩をと... について「不穏当発言の取... 消しを求める」と要求、共

ニュース・天気以外は特別番組

NHK 72時間、民放59時間

内部文書で判明

天皇Xデーこれが番組表

NHKの「Xデー」特別編成案

1日目		2日目		3日目		
前0 1 5	崩御 ○臨時ニュース(7波) (臨時特別編成) ○会長、告知放送(7波) ○ニュース(4波)	臨時特別編成(日の丸、君が代休止)				
前6 1 11	○ニュース 崩御本記、宮内庁中継 官邸中継、追悼談話 天皇ミニ一代記など ○「園遊会での陛下」 ○「地方巡幸の記録」 ○歴代担当記者座談会 ～陛下の思い出～	○ニュース 各地の動き、表情 海外の反響 各界の動き ○追悼座談会(1) ～各界～ ○「天皇陛下のお歌」(再) ○「天皇陛下と生物学」(再)	○ニュース 各地の動き、表情 海外の反響 各界の動き ○追悼座談会(2) ～各界～ ○公的行事中継	天気	天気	天気
後0 1 6	○ニュース(毎正時) 宮内庁、官邸、各地中継 追悼談話 ○「天皇陛下のお歌」 ○「天皇陛下と生物学」 ○スタジオインタビュー ～天皇陛下と趣味～	○ニュース(毎正時) 公的行事中継 各地の表情など ○「回想大行天皇」(再) ○N響追悼演奏 ○「新天皇明仁陛下」(再)	○ニュース(毎正時) 公的行事中継 各地の表情など ○N響追悼演奏	ローカル	ローカル	ローカル
後7 1 11	○「回想大行天皇」 ○ニュース ○ドキュメント 「昭和が終わった日」 ○追悼座談会 ～天皇陛下をしのぶ～	さようなら昭和(仮) 第1部・さようなら昭和 ・昭和への感慨(各層) ・ゆかりの地リポート ・衛星中継 ○ニュース 第2部・昭和回顧 ・昭和の映像 ・識者による回顧ほか	○「新天皇ご一家」 ○ニュース ○ポスト昭和を考える ～座談会～	ニュース	ニュース	ニュース
前0 1 5	○ニュース ○「新天皇明仁陛下」 ニュース (放送延長)	○ニュース ○N響追悼演奏 ニュース	○ニュース ○N響追悼演奏 ニュース			

ある民放テレビ局の「Xデー」編成案

1日目		2日目	
0	昭和近く・天皇陛下崩御 (中継) 宮内庁・首相官邸・ 皇居・皇居前・病院 剣道渡御の儀(中継)はじめ 崩御関係の宮中儀式解説 臨時閣議(官邸中継)の結果 (改元など) 弔問(皇居内・皇居前中継) 海外各国の反響	5	情報コーナー 追悼曲 ニュース・天気
7	天皇陛下のご生涯	7	悲しみの一夜明けて 在外邦人は… 世界の反響
10	リレー中継・悲しみの 日本列島 各地から街頭の表情を中継	12	朝見の儀 ニュース・天気
12	座談会「陛下と私」	16	昭和近く・一億の歩み
16	リレー中継・ゆかりの地・ゆ かりの人	17	学者・天皇をしのぶ
18	園遊会お言葉集	18	解説・元号を考える
19	ニュース・天気	19	ニュース・天気
23	昭和近く・昭和史と天皇	24	素顔の新天皇と これからの皇室
24	ニュース・天気	1	I部 新天皇のお素顔
2	続・昭和近く・昭和史と天皇	2	II部 新皇太子殿下
4	ドキュメント・昭和が 終わった日 天皇陛下のご生涯 世界の反響	6	III部 これからの皇室外交 ニュース・天気

NHKの特別編成案は、一「のゴールデンアワー」に特集番組「さようなら昭和」、二「三日月」通常編成に戻る四「四日」以降は新天皇とポスト昭和を考慮し「昭和時代」(四「回」や公的行事中継を予定し「新時代展望」を特集。

天皇の病状悪化から一カ月余、NHKと民放テレビ各局は、深夜も電波を止めない異常な二十四時間報道態勢を続ける一方、昭和最後の日の「Xデー」放送に向けた準備を整えています。本紙がこのほど入手した内部文書によると、NHKは連続七十二時間、民放は最大五十九時間の特別編成案を作成。この間は通常番組とCM放送をすべて吹っ飛ばして「天皇番組一色」に塗りつぶす大々的な追悼キャンペーンを計画しています。

「追悼」キャンペーンは、民放「元首」化をねらう政府・自民党の策略に公共の電波を提供し、その片棒をかつく以外の何物でもありません。それは、憲法の主権在民の原則から逸脱するだけではない。放送法に明記された「政治的に公平」「報道は事実を偏らない」「意見が対立しての重大な経路にあります。」という原則から逸脱するだけではない。「Xデー」放送をめぐる、民主主義の立場に立つかどうかの重大な経路にあります。

主権在民、放送法に違反

「元首」化の片棒かつぐ

「元首」(ある民放局の特別編成案)などの特別番組を連発する通算番組とCMを中止。死後発表は「悲しみの日本列島」昭和近く・昭和史と天皇」。

「元首」化をねらう政府・自民党の策略に公共の電波を提供し、その片棒をかつく以外の何物でもありません。それは、憲法の主権在民の原則から逸脱するだけではない。放送法に明記された「政治的に公平」「報道は事実を偏らない」「意見が対立しての重大な経路にあります。」という原則から逸脱するだけではない。「Xデー」放送をめぐる、民主主義の立場に立つかどうかの重大な経路にあります。

「元首」(ある民放局の特別編成案)などの特別番組を連発する通算番組とCMを中止。死後発表は「悲しみの日本列島」昭和近く・昭和史と天皇」。

「元首」化をねらう政府・自民党の策略に公共の電波を提供し、その片棒をかつく以外の何物でもありません。それは、憲法の主権在民の原則から逸脱するだけではない。放送法に明記された「政治的に公平」「報道は事実を偏らない」「意見が対立しての重大な経路にあります。」という原則から逸脱するだけではない。「Xデー」放送をめぐる、民主主義の立場に立つかどうかの重大な経路にあります。

この指とまれ

ヤング YOUNG

流されずに

考えてみると全く天皇にも責任がなかったとはいえない。大日本帝国憲法によると、天皇は国の最高責任者（元首）であり、陸・海軍の最高指揮者でもあったということは事実。つまり、天皇のひと声で戦いは始まり、戦いが終わることも可能だった。

あの悲惨な戦争にどれだけのアジアの人々、諸外国の人々、日本人が犠牲になったか。広島、長崎、沖縄がどうなったかを深く考えてほしい。

今の日本は、民主主義で自由、平等、平和のはずだが、自粛ムードに包まれて何か違う感じがある。ただ、なにより注意すべきことはこの自粛ムードが政治に利用されることだと思ふ。みんな！時代に流されてはいけない。流されて自由を奪われるより、勇気を出して民主主義を守る方がいいに決まっている。

(北九州市八幡東区・酒井輝美・21歳)

行き過ぎた

本当に最近の自粛ムードは行き過ぎだと思ふ。天皇陛下のご病状について家族で話し合いをする、いつも「自粛」についての話に展開していきまふ。そのたびに、父は「そんなのは当たり前だ。だれのおかげで終戦後の日本が植民地にならずにすんだと思つてらんだ。天皇陛下のおかげだぞ」と必ずいいます。

「それについては、日本人として生まれたからには感謝すべきだけど、しかし、平等の世の中で天皇だけが特別扱いを受けるのは絶対に間違っている」。そう父に反論すると「お前、来年東京の会社に就職するんだろ。そんなこと言っていると、だれかに生命を狙われるぞ」といいます。そんなのは怖くありません。

僕が怖いのは「天皇陛下のご病状だから」という理由で「自粛」を簡単に受け入れられる人たちがたくさんいるということです。軍国主義・国粹主義時代のころの日本ならともかく、今は民主主義の時代です。僕は日本が「古き良き時代」に戻りつつあるのでは、と不安でなりま

せん。訂正することになった英語の教科書についてもそうだし、自粛についてはいきすぎだと思ふ。

(福岡市東区・ナチス・フリーク・高3)

何を恐れる

「自粛」を辞書で調べて見たところ「――自らすすんで行い

自粛

いうこと

はと

をつつしむこと――とあった。現在、日本列島をおおる自粛の雲は、果たして「自粛」なのだろうか。

民主主義の日本だから天皇陛下のことを心配して自粛するのは自由だが、心配して……という人がどれだけいるだろうか。ほとんどは周りに影響されて行事を自粛しているのではなからうか。

それがおかしい。民主主義なのだから自粛も、祭りも、やりたけりゃやれればいい。民主主義なのだから「自粛しろ」「祭りをしろ」と強制もされない。なのに多くの人は何を恐れているのか、祭りなどを遠慮する。国の主権者は国民だ。今の日本には治安維持法もなければ、憲兵もない。何を恐れることができるか。

僕は別に「自粛に反対」というわけではなく「祭りに反対」というのでもない。ただ一つ反対するのは、周りの自粛ムードにのまれて、自粛してしまう姿勢である。民主主義の日本は何も遠慮はいらない。日本人は何かと世間体を気にして自分の意思を殺しやす。この自粛問題を機に、自分の意思に胸をはれる日本人になるべきだ。この問題は日本を本当の民主主義へ進めていく一つの試練であり、もしここで負けたら、日本は戦前の軍国主義へと戻ってしまう、と思ふ。

(福岡県糸島郡前原町・ヒロヒト・中3)

利用真っ平

16日付の「ワイワイがやがや」を読んでびっくりしました。堂々と意見を述べながら「匿名」？ 私と友人、先生など、私たちの間では天皇さんのことを親しみをこめて天ちゃんと呼んでいませう。死後、元号が変わったら昭和生まれは古くさく聞こえるねだの、喪に服すんなら学校休みになるかなだの、おしゃべり

しています。ただわが市でも産業祭は中止になりました。なぜ？ いったみれば、天ちゃんはあくまでも「象徴」でしょ？

「主権」を持つ私たちが、戦前じゃあるまいし、どうして天ちゃん一人にこの騒がなさいいけないんですか？ 「自粛」で迷惑こうむった人たちが山といるんです。正直いってうらやましいです。私は歯医者で1000円かかった時、「高い！」と病院でいってしまったことがあります。天ちゃんは、医者代の心配もせんといたれりつくせり、です。

臓器移植しなきゃ命がない、そのお金が足りなくて一生けんめい運動している人々だっているんです。今「天皇さんを利用しよう」という人々が出てきたら、しらすしらすのうちに協力してしまわないで。私もそう思ふ。少なくとも、世間がこのままでは、でも、私はそんなのまじりです。みなさんの意見を、もっと聞かせてください。

(佐賀県鳥栖市・浅葱たまねぎ・高2)

勇気出そう

この指とまれ、に、天皇についての投稿で、はがきにいったん書いた自分の住所、名前まで消したものがある、という記事があった。教師がいままでのような「日の丸君が代」批判が難しくなっている、という記事もあった。怖い。自分が「何か、おかしい」と感じることを口にできないような状況ができてつづめるのだろうか。

戦争で天皇は利用され、そしてその天皇の存在が大衆操作に利用された。その意味で、大衆

同様に、天皇も被害者のはずだ。しかし、一方では、戦争を止め得なかったことでは、両方とも、戦争の加担者、加害者だろう。

こんな時代だからこそ、今勇気を持って、自分の考えをいわずにはいけないのではないか。再び被害者、加害者になる日が来ないように。先生たち、そして大人たち、お願いします。非難されることなど恐れずに、正しいことを教えて下さい。そして、私たちも間違ったことを厳しく見つめ、訴えていかなければいけないと思ふ。みんな負けちゃ、だめだ。*右へならえ、の流れに、のみこまれちゃいけない。元気をだそうよ。

(大分県大野郡緒方町・ちるちるばちちゅんちゅんちゅん・高3)

官僚が悪い

私にもひとこと言わせてください！

この自粛ムードをつくり出しているのはだれか。皆さんご存じですか？ その人は、日本の国をあやつっている影の人たち、そう「官僚」なんだそうです。何でも竹下首相が、官僚たちにパーティーの出席を自粛するようにしたのがもとで、みんな右へならえをしているそうです。天皇は「象徴」であると思ふ憲法第一條にはっきり書いてあります。ですから、確かに私は陛下のご病状、心配です。でも、それはあくまで一人の人間としてです。

官僚を含むすべての公務員たちは、国民に対する奉仕者でなくてはなりません。けれども、彼らは奉仕どころか、国民を苦しめるようなこと、いえ、世界の人を悩ませるようなことをしているのではないのでしょうか。自粛で、かなりの苦勞を水のあわにしてしまった人、商売あがったりの人、たくさんいるはずですが、困っている話を聞いた時など、憤りが感じられました。自粛に限ったことではありません。間接税のことや、外交問題、福祉の問題など、彼らが速やかに解決すべきことをこじらせているのではないのでしょうか。

もっと大事なことは、アジアやアフリカで苦しんでいる子供たちのことなど、数えきれないほどあるはずですが、でも、それに背を向けているのは、官僚たちではないですか？ 自分たちの利益だけ考えないで、しっかりして下さい！！

(山口市・私が官僚ならもっとしっかりやる・高1)

宮崎県民の「天皇陛下下のお見舞い記帳所」設置に関する抗議及び質問と要請

宮崎県は「天皇ご快癒を願う県民の声にこたえる」との名目のもとに、県庁敷地内に「天皇陛下お見舞い記帳所」を設けた。あくまでも個々人の自発的な意志・行為である筈の記帳行為を「県の事業」として行なう事は全く不当であると考える。

このことは「主権在民」という憲法原則に反するものに他ならず、いかなる理由があれ、これを地方自治体の業務とすることは不適切であると言わざるを得ない。

更に、先の大戦の天皇の責任を問わないままに、国民感情の美名にかくれて、天皇の病状を特別扱いするこのような業務に対して、わたしたちは強く抗議する。

以上の理由から以下三点にわたり質問と要請を行なう。

一、県は、「天皇陛下お見舞い記帳所」を設ける根拠を「天皇ご快癒を願う県民の声にこたえるため」と述べているが、地方自治体がこのような業務を行なう法的根拠を具体的に示せ。

二、「天皇陛下お見舞い記帳所」の設置、運営のための責任の所在及びそれに至る経過を明らかにせよ。

三、「天皇陛下お見舞い記帳所」を県の業務として行なうことは適切でないと考える。「天皇陛下お見舞い記帳所」の業務を直ちに中止することを要請する。

一九八八年十月三日

ロヒキリスト教団九州教区宮崎地区
代表者
地区委員長 山本 爽 起 子
(日向市新生町二一五五)

宮崎県知事 松 形 祐 堯 殿

「宮崎県、「天皇陛下お見舞い記帳所」設置

に関する抗議及び質問と要請」への答弁と本口

去る十月三日に私達が提出した「宮崎県の「天皇陛下お見舞い記帳所」設置に関する抗議及び質問と要請」に対し、県は十月十一日に山本世也委員長に電話をもって次のように返答をしました。即ち、「九月二十八日の県議会における共産党久島昌起議員の答弁をもって、十月三日付の抗議及び質問に対する答弁とする。これらも、他への答弁をもって答弁に代わるとのことと自体、県民の横断員に対し、そのような態度であり、しかも、その共産党久島議員への答弁の問答は、「天皇陛下お見舞い記帳所」の設置をめぐって、松達が三度、県民の意向と要請に、答へるに全然して、全く誠意を欠く態度と云わざるを得ない。これと「県民の声にこたえる」ために設けられたというには、県民の中には、私達のように、県のお見舞い記帳所設置に反対して、松達が、答へるに居り、その県民の声にも、見舞い手と傾けて頂きたいものです。

ここに、十月三日松達が提出した「宮崎県の「天皇陛下お見舞い記帳所」設置に関する抗議及び質問と要請」に対し、その二つに答へると誠実に答へることを強く要請します。この答弁は、書面をもって、二週間以内は、十月六日までに、委員宛へ送付すること、加えて要請しております。

一九八八年十月八日

日本キリスト教団九州教区宮崎地区
代表者
世也委員長
山本 爽 起 子

(日向市新生町二一五五)

宮崎県知事 松 形 祐 堯 殿

1988年10月3日付「抗議及び償向と要請書」に関する
教団九州教区宮崎地区委員長の教団への報告

Ⅱ. Xデーを迎えるにあたって

(1) 10月3日(月) 臨時委員会を開き、全国一斉抗議行動の一環として

「宮崎県「天皇陛下お見舞い記帳所」設置に関する抗議及び償向と要請」

を知事に提出した。(宮崎地区として)

(2) 10月11日(水) 県は委員長宛 電話をもって次のように返答した。即ち

「9月28日の県議会における共産党久島 昌志議員への答弁をもって、

10月3日付けの抗議及び償向と要請に対する答弁とする。

(3) 10月17日(月) 三役会を開き 再度の抗議文を作成

10月18日(火) 委員長は 別紙の通りの

「宮崎県「天皇陛下お見舞い記帳所」設置に関する抗議及び償向と要請」への答弁を求む

の文書と 配達証明をもって 知事に送付。一週間以内は文書をもって答弁を要請

(4) 約束の日に至っても 答弁が来ないので 委員長は

10月28日(金) 夕方 秘書課に電話をした。

向 答弁を待っていたのですか。

答 それは前に申しました通り 共産党議員への答弁をもって お答えしましたので 必要ないものと認めます。

向 それでは 私達の償向に対する答えはなっていないので 再度 答弁を求めたのですか。

答 それは あはれ方のほうで そうお思いになる文であって、私達は 答弁はあはれ方の必要ないものと認めます。

向 それなら そのように文書で 答えて下さい。

答 その必要はないかと考えます。

向 それでは 仕方がありませんから 電話で 償向します。
一、地方自治体のこのような業務を行う法的根拠は何ですか。

答 地方自治法に基く公共事務です。

向 何条ですか。

答 地方自治法をおよみに附けられる場合があります。

向 私はよんでいます。二条には「地方公共の秩序を維持し」とありますが、住民とこのように分離させることが 秩序を維持することなのですか。

答 全部 およみに附けられる場合があります。

向 では 償向への設置、運営のための責任の所在及びそれに至る至過を説明して下さい。

答 住民の要望にこたえて

向 住民の要望というならば、反対している私達の要望にはどう答えるのですか。

答 反対しているのは 共産党とおもなだけです。そしてお宅の中へ記帳に来ている方が居られる。

向 しかし 宮崎地区として その方が含まれています。

では 要望を出されたのは、どういふのですか。

答 答える必要はありません。あはれ方のことも言いませんから

向 いや、私達は言っておいて 結構です。言わないということは あはれ方は 思いのままです。

文書で返答して頂きたいのですか。

答 その必要はないと認めます。

5) 11月1日(水) 委員長 前以情報センターに資料を送ってあげたが、電話を1回合せる。乃モ氏は、電話でなく、知事に直接面会すること、運動の輪を広げることを勧めた。

6) 11月1日(火) 委員長 県秘書課に電話をし 知事との面会の約束を求めたが、22ヶ月は行事が多く 海外出張もあるため、その旨上達し、返事をするとのこと。